

下水道事業の経営状況を

お知らせします

問い合わせ 下水道グループ (☎9052)

下水道事業では、汚水を適切に処理し、衛生的な生活環境を確保するとともに、大雨などによる浸水災害の発生を防ぐことを目的に、利用者の皆さんからの使用料や市の一般会計からの負担金などにより、下水道や浄化槽の整備を行っています。
今号では、下水道事業の平成28年度上半期における経営状況についてお知らせします。

概況

水洗化率は増加、
浄化槽設置基数
は増減なし

市の下水道事業では、公共下水道事業と個別排水処理施設事業を行っています。

このうち、公共下水道事業は、利用者の皆さんが排出する汚水を受け入れるため、主に市街地（下水道管調整区域）で汚水管渠（し尿や生活排水を流す下水道管）や終末処理場『若山浄化センター』の整備を行うとともに、雨水の浸水対策として、雨水管渠（雨水を流す下水道管）の整備を行っています。

個別排水処理施設事業では、公共下水道事業で汚水管渠を整備する以外の地域を対象に、市民の皆さんの希望に応じて、各家庭に浄化槽を整備しています。

平成28年9月末時点における公共下水道の整備状況

区分	平成28年 3月末	平成28年 9月末	平成28年度 上半期増減
水洗化人口	41,110人	41,389人	279人
水洗化率	86.6%	87.2%	0.6%

※水洗化人口は下水道計画区域内の水洗化人口、水洗化率は当該数値を平成28年3月末時点の供用開始人口（47,483人）で除した数値です。

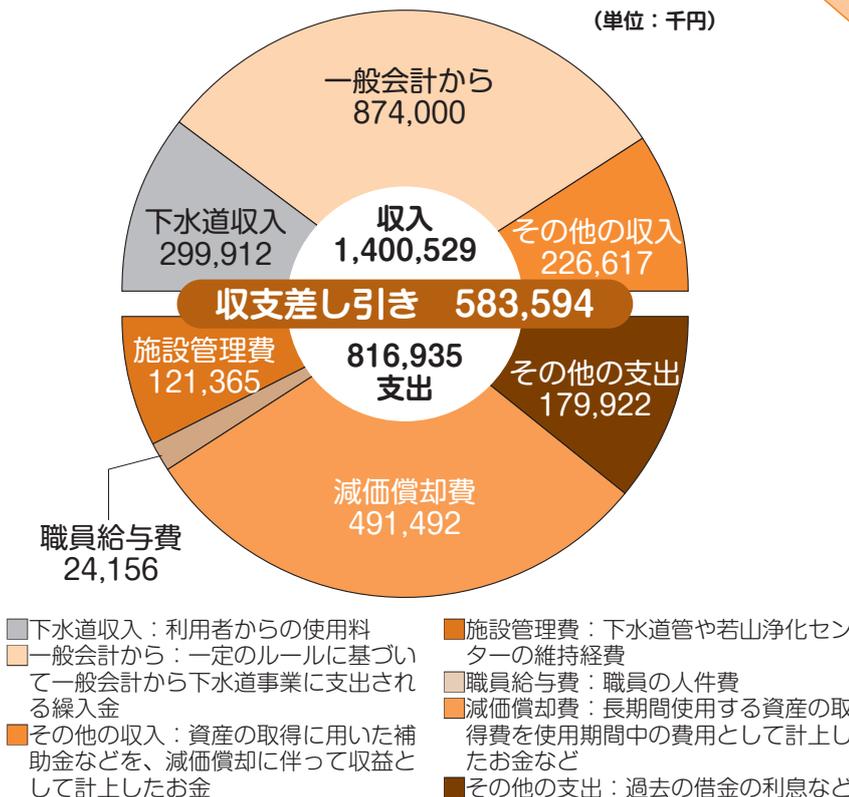
平成28年9月末時点における浄化槽の設置基数

区分	平成28年 3月末	平成28年 9月末	平成28年度 上半期増減
設置基数	66基	66基	0基

※設置基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含まず。

平成28年度上半期の損益

(単位：千円)



経理

平成28年度上半期の
純利益は約5億8千万円